

MSC ベリッシマの印象

鈴木志津子

事務局長の MSC ベリッシマに関するレポートを読んで、私も一度ヨットクラブを利用したことがあったのを思い出して調べてみると、2018年5月の MSC スプランディダでした。横浜～上海まで3泊4日の短いクルーズでしたが、同行者が高校の同窓生で、夫婦で公認会計士をしていて、イッセイミヤケなど有名企業の顧客を持つ人なので、よい船室を押さえました。細かいことは覚えていないけれど、ヨットクラブは最上階にあり、周囲はオープンデッキだったと記憶しています。そのため、傘が置いてあり、雨が降ると傘をさしてオープンデッキを歩いたように思います。

他に知り合いもいなかったもので、ずっと2人でそこで食事したと思います。他のレストランは利用していないので違いはわかりません。

私は多くのクルーズに1人で参加してきました。もし一人だったらヨットクラブは利用したくないです。テーブル固定制で、レイトシitting、できるだけ大きなテーブルが私の希望です。どんな人がテーブルメイトか、ドキドキしますが、だんだん打ち解けてきて和やかになってくると、1人旅の私にとって、テーブルメイトは大事な知人になります。

食事はともかく、我が食堂では、食後のお茶(コーヒーも)が飲めないのが不満でした。水ももらえなく、自前のボトルを持ち込んだ人にわけてもらいました。こんなの初めてです。ウェイターたちの労働軽減のためか？食事が済んだらさっさとお引き取りを、お茶が飲みたければビュッフェへという感じです。そのビュッフェは5階のレストランから10デッキも登らないと着けない離れた場所なのです。お茶を飲むために、いつも混雑しているビュッフェまではるばる出かける必要があります。のどの渇きも忘れてしまうくらい遠い。せめてもう少し近い場所なら…、いつも立派な食器がセットされていて、ほとんど使われていないレストランが近くにあったけど、あの一角に有料でもいいから、ゆっくりおいしいお茶が飲めたら私はうれしかったです。

一番前にある私の船室から、船尾のビュッフェへ。毎日こんなに歩いたのは初めてです。食後にお茶を飲まない暮らしは、私には考えられないのです。よい運動になったと思うことにします。



MSC スプランディダ



MSC ベリッシマ